

# 【アイドリングストップ支援機器 別紙1 記載例】

別紙1

アイドリングストップ支援機器 車両別請求内訳

会 社 名

平記 載 不 要 日

株式会社 ☆☆輸送

導入営業所名

本社営業所

上限台数:1事業者、5台まで。

アイドリングストップ支援機器導入機器内容							装着車両内容		
No.	東ト協 指定番号	導入機器 (該当機器を○印で囲む)	メーカー名 機器名(型式)	補助対象経費 本体購入価格 (税抜)	トラック協会 請求金額(円)	導入日	国補助 有無*	車両型式 (PK-, BDG-等)	登録番号
1	IS***	蓄熱マット等	A 社 ----- あったかマット (SW-EP3)	15, 000	7, 000	H30. 6. 4	有 無	P B—	品川100あ △△△△
		エアヒータ							
		車載バッテリー式冷房装置							
2	IS***	蓄熱マット等	B 社 ----- ホットマット (HOK-AB)	33, 500	15, 000	H30. 6. 26	有 無	P A—	品川400い △△△△
		エアヒータ							
		車載バッテリー式冷房装置							
3		蓄熱マット等	C 社 ----- エアーヒータ (K-34Z)	85, 500	42, 000	H30. 7. 7	有 無	A D G—	品川100い △△△△
	IS***	エアヒータ							
		車載バッテリー式冷房装置							
4		蓄熱マット等	D 社 ----- バッテリー式クーラー (626E)	250, 000	60, 000	H30. 7. 20	有 無	A D G—	品川100か △△△△
		エアヒータ							
	IS***	車載バッテリー式冷房装置							
5							有 無		
		車載バッテリー式冷房装置							
計					124, 000				

【別表】平成30年度アイドリングストップ対象機器一覧を参照。該当の機器の種類を○印で囲む。

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)

\*国の補助を受けた場合、全ト協補助分は対象外。

請求明細書に記載されている金額(税抜き)  
単価をそれぞれ記入。

国の補助制度を受けているときは“有”に○印。  
※“有”の場合は全ト協分の補助対象外です。

## ◎補助金額の計算について

※1,000円未満切捨。各機器種類による補助上限金額有。

①No. 1 蓄熱マット等 対象額15,000円の場合  
東ト協のみ=(15,000×1/2=7,500円)→7,000円  
《蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方》

②No. 2 蓄熱マット等 対象額33,500円の場合  
東ト協のみ=(33,500×1/2=16,750円)→15,000円  
《蓄熱マット等 1/2額か、上限15,000円の低い方》

③No. 3 エアヒータ 対象額85,500円の場合  
全ト協のみ=(85,500×1/2=42,750円)→42,000円  
《エアヒータ 1/2額か、上限60,000円の低い方》

④No. 4 車載バッテリー式冷房装置 対象額250,000円の場合  
全ト協のみ=(250,000×1/2=125,000円)→60,000円  
《車載バッテリー式冷房装置 1/2額か、上限60,000円の低い方》

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)

\*国の補助を受けた場合、全ト協補助分は対象外。

※ 補助台数は1社5台まで。車両1台につき機器は1台まで。

◎エアヒータ・車載バッテリー式冷房装置の補助を受ける場合は“別紙 誓約書”の原本を添付してください。

【別表】平成30年度アイドリングストップ対象機器  
一覧を参照。該当の機器の種類を○印で囲む。